

次世代の眼底画像 Eidon Afの魅力

日時 2018年10月12日(金) 17:40~18:40

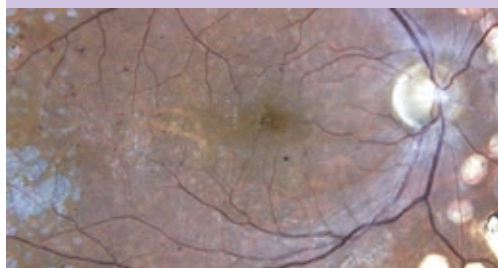
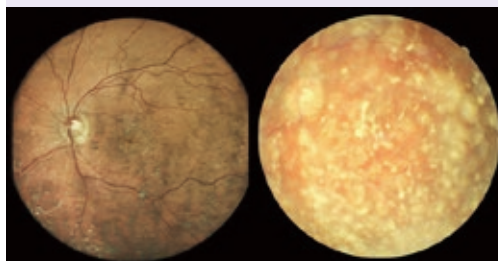
会場 第7会場 (東京国際フォーラムDブロック1FホールD1)



座長

坂本 泰二 先生
(鹿児島大学)

眼科画像診断の急速な進歩を、多くの先生方が実感されていることと思います。今まで見ることができなかった生きた網膜脈絡膜をOCTが可視化することで、新たな病態が解明されましたし、OCT血管撮影検査により、無侵襲で眼底血管を可視化することができるようになりました。そして、この進歩はまだまだ続いています。従来の眼底写真撮影では出血や白斑などの病変が描出されましたが、実は眼底写真にはそれ以上の重要な情報が隠されています。その情報を日常クリニックレベルで得ることを可能にするのがLED光源と広角撮影です。本セミナーではこの特徴を備えたEidon Afを例に取り、眼底写真撮影からどのような新たな情報が得られるかについて解説します。毎日使う器械であるからこそ、より多くかつより正確な情報を得られるものが必要であることを理解されるでしょう。



演者
1



市川 一夫 先生 (中京眼科)

何が本当の色なのか?
Eidon Af眼底画像の色の特徴

演者
2



園田 祥三 先生 (鹿児島大学)

Eidon Af眼底画像のユニークさと
カラー自発蛍光画像の魅力

演者
3



丸子 一郎 先生 (東京女子医科大学)

Eidon Af
どこまで見える、使える?

演者
4



森下 清文 先生 (森下眼科)

あなたも体験しませんか。
今までにない綺麗な眼底写真